

毎週日曜発行
2025 9/28

こども新聞
週刊

がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



きょうのテーマ

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

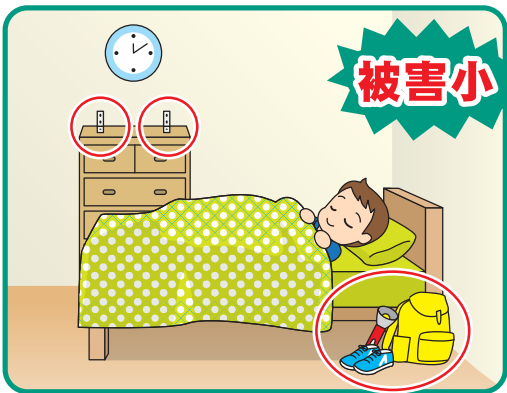


はやさかアドバイザーの

学ぼう防災

30

事前の備えは
かしこい投資



災害リスクを考え「投資」をしよう!

- 災害時に起きることを具体的にイメージする
- リスクを減らすことは「お得」につながる

イラスト さとうあけみ

事前の投資で大きな効果

災害リスクの削減策

皆さんは「投資」という言葉を聞いたことがありますか。これは、将来の役に立つようにお金や時間、労力、知識を使うことを意味します。勉強することも自分の将来への投資になります。防災の分野でも、災害リスクを減らすために「投資」という言葉を使います。身の回りの災害リスクを、誰が見ても分かるように「見える化」

し、リスク削減に向けてお金や時間などの効果的な使い方を決め、事前に行動するという考え方です。国連が定めた防災指針「仙台防災枠組」でも、優先すべき行動の一つに「感染症のインフルエンザを例に考えてみましょう。この場合の「投資」は、ウィルスを体内に入れないための小まめな手洗いやうがい、マスク着

用といった対策です。あらかじめ対策をしっかりと取ること、高熱に苦しむなどの健康面の被害を減らせ、病院や薬にかかる余計な出費を抑えられます。地震や津波の場合も同じように考えられます。災害時に身の回りで起きることを具体的に予測し、家具を固定したり、津波ハザードマップを見て避難方法を決めたりす

ることが「投資」になります。万全の備えをすれば、家具が倒れる、津波に巻き込まれるといった被害を少なくできます。あらかじめお金や時間をかけて備えておくと、災害が起きた後に対応するのに比べ、より少ない投資で大きな効果を得ることができ。これは、過去の大規模災害の教訓からも明らかになっています。

まだ子どもの皆さんが災害リスクを減らすためにお金を使う機会が多くはないと思いますが、身の回りの災害リスクについて調べ、家族や友だちと災害時の行動を話し合うことも投資になります。自分や家族の命を守り、災害により失うものを減らすだけでなく、社会全体を災害に強くするため

に役に立ちます。皆さんの自宅や学校にはどんな災害リスクがあり、どんな投資がされているか考えてみましょう。

(仙台市防災・減災アドバイザー 早坂政人)

この日 何の日

◇10月4日(土) 宮城県で全国育樹祭開幕
森を守り育てる大切さを普及啓発するための緑の祭典が宮城県で初開催されます。1997年の全国植樹祭で上皇ご夫妻が白石市に植えたブナなどを皇族がお手入れします。式典行事は5日に利府町で行われます。

きょうの紙面

- 2面 ニコ☆プチ
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 キホンがわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 Let's try 防災クッキング